

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -1

4-
-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	構成資産の巡視・監視体制の強化
節	安全対策の徹底		
事業(施策)名	1 来訪者の安全な受入体制の整備	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	県文化行政課、佐渡地域振興局企画振興部、佐渡市建設課
事業概要	<p>【事業目的】 世界遺産の構成資産及びその周辺施設の安全面でのパトロール体制の強化や関係機関との連携により、来訪者の安全確保を図る。</p> <p>【事業内容】 定期的なパトロールのほか、関連機関・所有者・地域住民・ガイドからの随時の情報提供を可能とする仕組みを構築する。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 災害発生時における文化財の被害状況確認のためのパトロールを実施する。 ガイドが案内中に発見する危険箇所に関する連絡を含む、関連機関、所有者、ガイドからの連絡体制を構築する。</p> <p>【29年度実績】 台風や豪雨等の発生時に関係機関や所有者へ被害状況を確認するとともに、現地へのパトロールを実施した。 文化的景観や史跡の所有者へ、災害時において被害が出た場合の報告を依頼するとともに、ガイド研修等の参加者へ危険箇所発見時の連絡を市民講座等にて依頼した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 構成資産が広範囲にわたり、その内容も多岐にわたることから、関係機関や所有者・地域住民等との情報提供体制について、ますますの連携を図るため、マニュアル等の指針が必要となる。 文化財パトロール活動(3-13)・定期点検(モニタリング)の実施(3-14)・構成資産内における立入禁止区域の設置と周知(3-21)との連携が必要である。</p> <p>【今後の取組】 今後、関係機関・所有者・地域住民・ガイド等とのますますの連携を図るため、マニュアル等の指針を策定するとともに、引き続き構成資産内のパトロールを行う。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 { a・b・c } 概ね計画どおりに事業が進んでいることから、B評価とした。</p> <p>【事業実施の効果】 { a・b・c }</p> <p>【総合評価】 { A・B・C }</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。